

■アルゼンチン：原子力発電所の建設、中国と覚書

アルゼンチンエネルギー鉱山省（MEM）は2016年7月1日、中国との間で原子炉建設に関する覚書を締結したことを発表した。調印はアルゼンチンのエネルギー鉱山大臣と中国国家エネルギー局長が同席して北京にて行われた。今回締結されたのは、アルゼンチン国内で4基目と5基目となる2基の原子炉が対象で、4基目は2017年第1四半期、5基目は2019年に着工される予定になっている。4基目は既設炉のEmbalse原子力発電所と同じカナダ型重水炉（CANDU）、5基目は加圧水型軽水炉（PWR）になると見られる。